

## 平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表  
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満  
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧  
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

### 1. 学校概要

学校名 只見町立朝日小学校  
種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中高一貫教育  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )  
住所 〒968-0441  
福島県南会津郡只見町大字黒谷字九日田230-1  
E-mail : asasyou@tadami.ed.jp  
Website : \_\_\_\_\_  
児童生徒数：男子 36 名 女子 40 名 合計 76 名  
児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

### 2. 担当者 ※公表しません

### 3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( 放射線教育 )

## 4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

### テーマ：只見愛を育む教育課程の発展

～「つながり」を重視したESDの推進をとおして～

テーマ解説：

#### 【只見愛育成とESD】

福島県只見町は、県の西端にある自然豊かな地域であり、日本で有数の豪雪地帯でもある。「自然環境・生物多様性の保全」と「自然と人間の共生」が認められ、2014年6月に「ユネスコエコパーク」に登録された。

只見町には、「自治体存続の危機」と「学ぶ意欲の喪失」という課題がある。その課題を解決するために、「只見愛（自分に自信をもち、家庭や学校、地域に誇りをもち、夢や目標に向かって学び続ける態度）」の育成に取り組んでいる。

本校のESDは、総合的な学習の時間において、「ユネスコエコパーク」で認められた只見のよさを学ぶ「只見学」の学習を中核としながら、そこで見られた子どものよさを教育課程の各教科や各領域において、関連して繰り返し指導することで「只見愛」を育成しようとするものである。

#### 【本年度の取り組み】

平成25年度には、「只見愛を育む教育課程の創造」をテーマに、「只見学」を中核として、関連して繰り返し指導できる教育課程を提案した。

本年度は、関連して繰り返し指導できる活動を、「教材のつながり」「人のつながり」「能力・態度のつながり」という点から広げ発展させるような教育課程を編成、実施、評価、改善することに取り組んだ。

#### 【取り組んだ内容】

学 年	学 習 内 容 ・ 活 動
第1学年 第2学年	生活科の学習において、地域の自然や人々のよさをたっぷりと味わうことのできる活動を設定する。 ・地域の自然を生かして遊ぶ活動 ・保育所、給食センター、振興センターなど地域の施設と連携した活動 ※「放射線教育」「防災教育」「食育」「健康教育」との関連を図る。 ※ 道徳や特別活動、各教科において、関連した繰り返し活動を実施する。
第3学年 第4学年	総合的な学習の時間の「只見学」において、「只見の人と自然」をテーマに、自然のすばらしさと自然と人々が共生しているくらしのよさを調べ、体験することができる活動を設定する。 ・地域の施設（ブナセンター）を学習拠点とした自然学習 ・川遊び、雪遊びなど自然の中で遊ぶ活動 ・四季それぞれのブナの森散策（動物と植物、地形、スノートレッキング） ・自然の恵みや豪雪地帯の気候を生かしたくらしを調べる活動

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統芸能（小川早乙女）を体験し継承する活動</li> <li>・「つる細工」など自然と共生する活動</li> </ul> <p>※「放射線教育」「防災教育」「食育」「健康教育」との関連を図る。  ※ 道徳や特別活動、各教科（特に理科・社会）において、関連した繰り返し指導をする。</p>
第5学年	<p>総合的な学習の時間の「只見学」において、「只見の食と農」をテーマに、すばらしい自然や環境、気候を生かして農業を営み、独自の食文化を築いてきたよさを調べ、体験することができる活動を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水を生かした米づくりの活動</li> <li>・郷土食を調べ、つくる活動</li> <li>・地場の食材と地産地消のよさを調べ、体験する活動（給食センターと連携）</li> </ul> <p>※「放射線教育」「防災教育」「食育」「健康教育」との関連を図る。  ※ 道徳や特別活動、各教科（特に理科・社会）において、関連した繰り返し指導をする。</p>
第6学年	<p>総合的な学習の時間の「只見学」において、「只見の歴史と未来」をテーマに、自然と共生してきた人々の歴史、私たちが担う只見の未来について調べ、体験することができる活動を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・只見の遺跡、只見ゆかりの人々を調べる活動</li> <li>・これからの只見について考える活動</li> <li>・学んだことを発信し交流する活動</li> </ul> <p>※「放射線教育」「防災教育」「食育」「健康教育」との関連を図る。  ※ 道徳や特別活動、各教科（特に理科・社会）において、関連した繰り返し指導をする。</p>
共通実践	<p>雪像づくり 秋のなかよし活動 つる細工（3年以上）  地域ボランティア活動 朝日地区運動会など地域行事との連携  運動会、学習発表会などの行事と関連した活動</p>

### 【本年度の成果】

#### (1)「教材のつながり」について

- 全学年をとおして、道徳や特別活動との関連が多く図られている。また、各学年の指導内容に応じて、低学年は生活科の学習内容との関連、中学年は「人や自然」とのつながりで理科や社会科との関連、5学年は「食と農」で社会科や家庭科との関連、6学年は「歴史と未来」で社会科、理科との関連を広げることができた。
- 関連が明らかになったので、単元構成や展開、配列などを工夫することで、より必然性のある追究型でストーリー性をもった構成にしていきたい。

#### (2)「人のつながり」について

- 持続可能な社会の担い手としての資質は、人との関わりの中で醸成されていくことが多い。特に追究型の体験を主とする学習においては、学校運営委員会や保護者、地域の方々の理解、連携や協力が不可欠である。
- さらに、「コミュニティースクール」制度や「ユネスコスクール」の活用を図っていきたい。

